

新しい「野洲市民病院」 ニュース Vol.7

令和9年3月の移転・開院に向けて
工事の進捗状況などをお知らせします！



令和7年8月31日
＜お問合せ先＞
野洲病院新病院整備課
小篠原 1094 番地
077-587-6141

現在、4月から始まった基礎工事が最終段階に入っています！

◆◆ 基礎工事が進んでいます！ ◆◆



↑ 7月末現在のドローン撮影写真



3月より始まった本体工事では、計76本の杭が打ち終わり、4月から基礎工事が行われています。現在、地中梁を施行しており、基礎工事も終盤に差し掛かっています。

○当面の工事日程

R7.8月末	基礎工事
9月 ～10月	防火水槽・オイルタンク・ 設備配管工事など (国スポ・障スポ開催日は 工事を休止します)
11月～	上部鉄骨・上部躯体工事

◆◆ 健康管理センターで人間ドック・各種健康診断を実施しています！ ◆◆

市立野洲病院の健康管理センターでは、人間ドック・企業健診・特定健診・市町がん検診などを、完全ご予約制にて実施しています。また、健康診断の結果、診察や精密検査などが必要となった場合は、ご希望に応じて該当する診療科への「エスコート予約」を行っています。さらに当院での診察の結果、高度医療機関での治療が必要とされた場合には、病院間で受診紹介を行います。

人間ドックには多様なオプション検査をご用意しております。また女性医師・女性技師での対応や、結果通知の迅速化に取り組んでおります。



人間ドック	費用(税込)
基本コース	40,700 円～
レディースコース	55,000 円～
2日間コース	83,600 円～

【裏面に続きます】

◆◆ 新病院の「健康管理センター」をご案内します！ ◆◆



新しい病院では「健康管理センター」を、2階のエレベータホールに隣接しています。センター内で、採血、聴力、心電図、エコーなど、一連の検査をスムーズに行えるよう各室を配置しています。

採取した検体（採血・採尿）は、隣接する「中央検査室」に速やかに搬送します。

また、人間ドック（2日間）にお使いいただく食事室や、健診待合ホールも広く快適になります。新病院では、受診者さまに院内を移動いただく負担をできるだけ軽減し、健診時間の短縮にも務めてまいります。



新病院の健診待合ホール

市立野洲病院 健康管理センター TEL：077-587-4443（直通）

ご予約受付時間：月～金（土日祝除く）9：00～16：00

----- 歴史の井戸辺 医事にまつわる野洲の歴史散策 第5回 -----

安土桃山時代、野洲の医学にも影響を与えた人物に曲直瀬道三（1507～1594年）がいる。信長や秀吉とも通じたポルトガルの宣教師ルイス・フロイスは、道三を「日本のもっとも優れた学者の一人」と称した。彼は医学をどのように考えていたのだろうか。

道三は、私塾・啓迪院を開いて子弟を育成しており、そこでの育成方針を『切紙』と題した書物にまとめていた。例えば「脈証を察して病名を定むべきこと」や「諸熱には即ち燥湿を弁ずべし」など、具体的な医則が57条に及んで記されている。そして意外にも、その57条の医則の第一は「慈仁」であった。「仁」とは、儒教、特に朱子学で最も重視する徳目である。

江戸時代も中ごろを過ぎると、医は「算術」、つまり、金儲けの手段だとする考えが現れる。しかし道三が57条の医則の第一に、あえて「慈仁」を位置付けたのは、医学とは社会的使命を成すべきものであるという道三の信念が示されたことにほかならない。日本において、医学が「仁術」となる時代の幕開けであった。



道三が幼少期に学んだとされる大光寺（守山市）

【参考文献】

- ルイス・フロイス（松田毅一、川崎桃太訳）『完訳フロイス日本史3 織田信長編3』中公文庫、2000年
- 矢数道明「『切紙』57ヶ条にみる道三の識見と思想」（『漢方の臨床』34(12)、1987年）
- 遠藤次郎・中村輝子「曲直瀬道三著『切紙』の再検討―『探頭集』との比較検討」（『漢方の臨床』45(9)、1998年）
- 服部敏良『室町安土桃山時代医学史の研究』吉川弘文館、1971年、布施昌一『医師の歴史』中公新書、1979年